

Press Release

2020年10月28日

日本イーライリリー株式会社
鳥居薬品株式会社

10月29日(木)は「世界乾癬デー」 乾癬領域においてLINE公式アカウントを開設 ～患者さんが医師に希望を伝えるきっかけづくりをサポート～

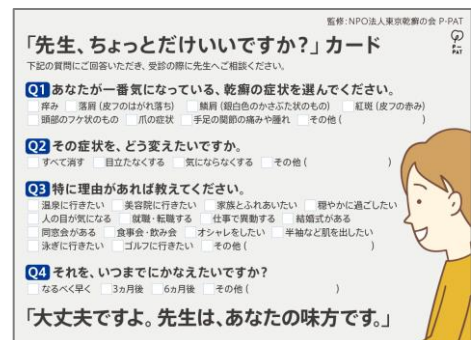
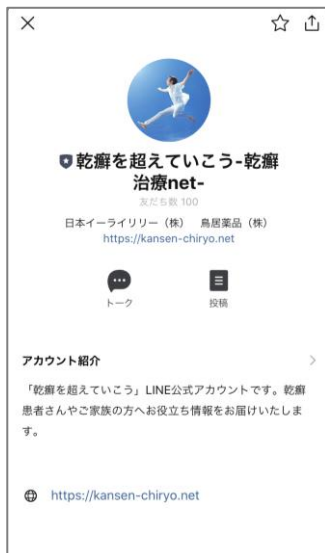
日本イーライリリー株式会社(本社:兵庫県神戸市、代表取締役社長:シモーネ・トムセン、以下「日本イーライリリー」)と鳥居薬品株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:松田 剛一、以下「鳥居薬品」)は、10月29日(木)の「世界乾癬デー」を前に、乾癬に関する様々なコンテンツや医師とのコミュニケーションをサポートする機能などを提供する、乾癬患者さんを対象にしたLINE公式アカウントの開設を発表しました。

日本国内における乾癬患者数は約43万人と推計されていますⁱ。乾癬は見た目には症状が顕著に現れるため、乾癬を知らない人に、触れるとうつる病気なのではないかと誤解されることもあります。その結果、人目を避けるようになるケースもあり、乾癬患者さんの「生活の質(QOL)」は低くなる傾向にあります。

日本イーライリリーと鳥居薬品は、乾癬患者さんのQOL向上を目指し、また患者さんと医師が積極的にコミュニケーションをとることで、患者さん自身がより納得のいく治療に近づくためのサポートをするためにLINEを開設しました。

LINE公式アカウントでは、以下の特徴的なコンテンツで、患者さんのコミュニケーションサポートを目指します。

- 1. LINEの先生役と対話の練習ができる仮想相談室(チャットボット機能)**
医師に相談する前にLINEで簡単な質問に回答することで、医師に自身の希望を伝える対話の練習をすることができます。
- 2. 『先生、ちょっとだけいいですか?』カード**
1のチャットボット機能を利用することで、治療に関する患者さん自身の希望がまとまった画面が自動的に作成されます。それを医師に見せることで、自身の希望を医師に伝えるきっかけとすることも可能です。
- 3. 対話のヒントになるコンテンツ**
患者さんの体験ストーリーや、医師と患者さんの対話を描いた「診察室4コマ漫画 先生、ちょっとだけいいですか?」など、患者さんが医師と対話する際に役立つコンテンツを提供します。



本LINE公式アカウントを監修した特定非営利活動法人東京乾癬の会P-PAT 理事長の大蔵 由美様は次のようにコメントしています。「昨今の新型コロナウイルス感染拡大に伴い、デジタル化のニーズが高まっており、P-PATでもZoomやLINEでの情報共有など、デジタルツールを活用したコミュニケーションに注力しています。その中で、乾癬患者さんからは何をどのように話せば希望を伝えられるのか分からないという声や、医師とのコミュニケーションをサポートするツールがあると良いという声も多くありました。今回のLINEアカウントはまさにそのような意見に寄り添った内容になっていますので、ぜひ多くの患者さんに活用していただきたいです。」

<LINE公式アカウント概要>

■対象: 乾癬患者さん

※乾癬患者さんのご家族など、どなたでもアクセス・登録は可能です。

■登録: LINEにて「日本イーライリリー 乾癬」と検索、または以下、日本イーライリリーのウェブサイトに掲載されているQRコードからLINEの友達登録ができます。

<https://kanssen-chiryu.net/line/>

世界乾癬デーについて

乾癬の認知度向上のために、患者さんが患者さんのために構想し、世界中の患者団体が構成される国際乾癬患者会連盟(IFPA)が、毎年10月29日を「世界乾癬デー」と決めました。この世界乾癬デーには、乾癬の認知の向上と理解増進に向けて、乾癬の症状を紹介する取り組みや、患者さんが意見を表明するなど、世界各地で啓発イベントが開催されます。イーライリリーは、全世界50カ国以上で展開するこの取り組みをサポートしています。

日本イーライリリーについて

日本イーライリリー株式会社は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの日本法人です。人々がより長く、より健康で、充実した生活を実現できるよう、革新的な医薬品の開発・製造・輸入・販売を通じ、がん、糖尿病、筋骨格系疾患、中枢神経系疾患、自己免疫疾患、成長障害、疼痛、などの領域で日本の医療に貢献しています。詳細はウェブサイトをご覧ください。 <https://www.lilly.co.jp>

鳥居薬品について

鳥居薬品株式会社は、「世界に通用する医薬品を通じて、お客様、株主、社会、社員に対する責任を果たすとともに、人々の健康に貢献する」ことを企業ミッションとし、「腎・透析領域」、「皮膚疾患領域」、「アレルギー領域」を重点領域と位置付けております。

JT(日本たばこ産業株式会社)グループの一員であり、新規化合物の研究開発機能はJTに集中し、製造・販売の各機能は鳥居薬品に統合するという機能分担によりJTと連携しています。また、導入活動についても独自の活動に加え、JTと連携することにより、優れた医薬品の導入を進めています。詳細はウェブサイトをご覧ください。

<https://www.torii.co.jp/>

¹ Takahashi H, et al. J Dermatol. 2011; 38(12): 1125-1129